

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

平成 19 年度

# 施設評価調書

施設の名称.....下田市立

白浜老人憩いの家

所管担当課.....下田市 福祉事務所

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立白浜老人憩の家		2 担当課 担当係	福祉事務所 福祉係		
3 所在地	下田市白浜 1260 番地の 1		4 設置年月	昭和 30 年以前		
5 総合計画の 位置付け	安心と安全づくり		ともに生きる福祉のまちづくり		高齢者福祉	
	施策体系		生きがい対策の充実		学習・交流の促進	
	主要事業		老人保健施設整備事業		老人保健施設の整備	
6 設置目的	老人に対し、余暇、自由時間の適切な活用を図り、積極的に娯楽、趣味レクリエーション等の場を提供して老人の心身の健康の増進を図るとともに老人に生きる喜びを与えるための施設。					
7 設置根拠	下田市立老人憩の家設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 347.1 m <sup>2</sup> 建物構造 木造平家建 建物面積 95 m <sup>2</sup>				
		会議室(33 帖)、和室(6 帖)、厨房、トイレ 利用人員 50 人				
	実施事業 の概要	原則 60 歳以上の高齢者の憩いの場の提供				
	料金体系	料金区分	施設使用料 ・高齢者(原則 60 歳以上) 無料 ・高齢者以外の者 下記の料金による。			
		主な料金	料金算定 使用単位 1 回につき 午前(9 時から 12 時まで) 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円 午後(13 時から 17 時まで) 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円 夜間(18 時から 21 時まで) 普通使用料 1,000 円 入場料徴収 2,000 円			
		減免内容	(使用料の免除) <b>第 6 条</b> 市長は、前条の規定にかかわらず、次の各号に該当する場合は、使用料を免除することができる。 (1) 市が主催し、又は委託する事業に使用する場合 (2) 市が認めた社会福祉関係団体が使用する場合 (3) その他市長が適当と認めた場合			
		利用料金制度	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営					
	指定管理者制度	指定管理者				
直接従事職員	一部委託		委託内容			
	下田市職員数	0 人(間接従事 1 人)				
	委託団体職員数	0 人				
9 市内の 類似施設	下田市所有	下田市立老人憩の家				
	民間所有	なし				

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成18年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新設翌年度から償却 ・耐用年数経過
	土地取得費	借地	土地残高			
	建物取得費	不詳	建物減価償却後残高	1円		
	財源内訳					
	県支出金					
	市債		市債残高	0円		
	一般財源 寄附金等					
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度予算
	収入	使用料	240,000	246,000	248,000	252,000
	収入合計		240,000	246,000	248,000	252,000
	支出	清掃人夫賃金	0	0	0	0
		消耗品	0	0	0	0
		光熱水費	58,000	63,566	62,927	62,800
		燃料費	5,000	8,424	0	9,000
		修繕料	30,000	0	0	30,000
		火災保険	13,000	8,170	8,170	9,000
		浄化槽業務	10,000	6,500	12,390	13,000
		浄化槽保守点検	18,000	22,155	9,765	10,000
		テレビ視聴料	0	0	0	0
		社協負担金	0	0	0	0
	借地料	288,440	288,440	288,400	288,400	
	支出合計		422,440	397,255	381,652	422,200
	職員人件費					
	減価償却費		0	0	0	0
市債利子		0	0	0	0	
下田市負担年間総経費		182,440	151,255	133,652	170,200	
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
12 施設利用状況等の推移	利用年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	利用件数		165件	167件	170件	-件
	利用者数		1,842人	1,684人	1,510人	-人
	利用種別	老人	35回	26回	22回	-回
		白浜区	5回	12回	20回	-回
		珠算塾	85回	87回	86回	-回
		書道塾	36回	36回	36回	-回
		会議他	4回	6回	6回	-回
	参考:利用単位当たり市負担額		99円/人	89円/人	88円/人	円/人
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
休館日	日曜日 祝日 12月28日から1月4日まで					
使用時間	午前9時30分から午後9時まで					
13 利用者満足度調査	実施の有無				調査結果	
	直近の実施時期	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	調査手法					
	調査数					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算		
	利用者数の目標値	人	2,197人	1,842人	1,684人	1,510人		
	" の実績	人	1,842人	1,684人	1,510人			
	目標達成度	%	100%	83.84%	89.6%			
選択した指標	成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標							
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 老人に対し、余暇、自由時間の適切な活用を図る。積極的に娯楽、趣味レクリエーション等の場を提供する。老人の心身の健康の増進を図る。老人に生きる喜びを与えるための施設。 左記を計る適切な指標を持っていないため、老人の利用者数をもって指標とする。 高齢者のための施設であり、高齢者の利用者数を成果指標の代替指数とした。							
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方					
	成果指標	高齢者に対し、余暇、自由時間の適切な活用	端的に示す成果指標の設定が難しい					
		高齢者に対し、積極的に娯楽、教育、趣味等の場を提供	端的に示す成果指標の設定が難しい (高齢者の利用状況の内容を把握し、数値で示すことが必要である。具体的に利用種別による、利用回数をしめす。)					
		高齢者の心身の健康の増進を図る	端的に示す成果指標の設定が難しい					
代替指標	高齢者の利用者数	高齢者のための施設であり、高齢者の利用者数を成果指標の代替指数とした。						
(参考)								
活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)								
活動指標	活動指標		区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	目標指標	高齢者の利用回数	目標値	回	96回	96回	96回	96回
			実績値	回	35回	26回	22回	
			達成度	%	36%	27%	22%	
目標指標の考え方	開館日287日に対し、1/3高齢者が利用することを目標とし96回とした。(広岡に比べ老朽化等を考慮した為目標値を下げた。)							
活動指標	目標指標	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
目標指標の考え方	なし							
活動指標	目標指標	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
目標指標の考え方	なし							

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人	1,842人	1,684人	1,510人	人
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	422,440円	397,255円	381,652円	422,200円
	利用単位当たり経費	÷ ×1,000円	円/人	229円/人	235円/人	252円/人	円/人
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。	施設の利用目的から、適切な指標をもっていないため、前年の利用者数をもって指標とする。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		現在の施設は昭和30年以前の築であり、老朽化が進んでいる。その施設の状態から、改善することは不可でコスト的にも小修繕にて統廃合の時期まで現状を維持していくのが適当である。		

その他の指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	施設稼働率	目標値	日	287日	287日	287日	287日
			実績値	日	165日	167日	194日	
			達成度	%	57%	58%	67.5%	
	目標指数の考え方	目標値は開館日数を当てはめた。実績は利用日数とした。						
目標指数	目標指数	使用料収入	目標値	円	252,000	252,000	246,000	252,000
			実績値	円	242,000	246,000	248,000	
			達成度	%	96%	97%	100%	
	目標指数の考え方	目標数値は予算計上額とした。 19年度以降は使用区分を2区分から3区分に増やすことで効率化を図る。						
目標指数	目標指数	なし	目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指数の考え方	なし						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	422,440円	397,255円	381,652円
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	240,000円	246,000円	288,400円
	受益者負担比率	÷	%	56.8%	61.9%	75.5%
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円	昼間 1 夜間 2	昼間 1 夜間 2	午前 1 午後 1 夜間 1
	補正受益者負担比率	÷	%	昼間 0.2 夜間 1.0	昼間 0.2 夜間 1.0	午前 1 午後 1 夜間 1

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	本施設は、現在市が直営で管理しているが、使用内容が本来の主旨である高齢者の活動活性、交流の場というより、地域住民の生活文化の振興等、公民館的な内容で使用されている傾向がある。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	近隣地域におけるコミュニティーホール・公民館的な役割を果たしている。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	現施設では、今以上の効果を求めるのは限界である。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画は怎么样了なっているのか	老朽化が進んでおり、予算の範囲内の小規模にとどめている。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	施設利用簿による記入方式。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	特に競合などはしていない。
		民間においても十分可能な施設なのか	本来の目的から収益事業ではないので、民間施設としてなじまない。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較は怎么样了なっているのか	本来の目的から適正と思われる。
		同種施設との比較、近隣施設との比較は怎么样了なっているのか	本来の目的から適正と思われる。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いが怎么样了なっているのか	本来の目的から指標は持っていない。
施設の耐用年数は何年有るのか		なし(築50年以上経過)	
施設の今後の維持経費の算定は怎么样了なっているのか		必要最小限の維持費のみ。 (光熱水費・修繕費・借地料等)	
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	必要最小限の維持費であり適正
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	老朽化が進んでいるので廃止が望ましい。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しは怎么样了なっているのか	特にされてはいない。
		施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか
	老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか		廃止が望ましい。
	地域、民間に譲渡できないのか		借地の問題があるので、譲渡は無理。
	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	廃止が望ましい。	
その他			

平成19年度

施設名（愛称名） 下田市立白浜老人憩の家

番号 44

### 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	施設本来の主旨からすると、高齢者福祉に貢献する施設であり、妥当である。
	受益者負担の妥当性	60歳以上の高齢者は原則的に無料であり、一般使用者の負担であるので、妥当である。
	実施主体の妥当性	施設本来の主旨からすると、高齢者福祉に貢献する施設であり、妥当である。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	廃止が望ましい。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	特になし。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	廃止の時点まで、現状を維持していくことが適正である。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	特になし。
査等	アンケート調査等の結果	市民アンケート調査等は実施していない。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	特になし。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	特になし。

### 平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	高齢者に対し、余暇、自由時間の適切な活用を図る。積極的に娯楽、趣味レクリエーション等の場を提供する。高齢者の心身の健康及び増進を図ることを目的とした施設。
見直し事項	特になし。

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立白浜老人憩の家	番号	44
--------	----------	-------------	----	----

### 施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	老朽化による今後の存続について(20年度に廃止の予定)	不明	存続要望の区との話し合い中
2	借地契約(H18.4.1~H21.3.31)の問題		契約期間満了後の対応
3	修繕費	不明	必要最小限の小修繕費
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

### 今後の方向性

今後の方向性	充実 効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	(具体的な内容) 本施設は、現在市が直営で管理しているが、使用内容が本来の主旨である高齢者活性、交流の場というより、地域住民の生活文化の振興等、公民館的な内容で活用されている傾向がある。 今後は近隣地域におけるコミュニティーホール、公民館としての施設管理運営を見直し本施設の在り方を検討していく。
--------	--	--